

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

山陽染工株式会社 本社工場

(2) 事業所の所在地

福山市一文字町6番1号

(3) 業種

1141 綿・スフ・麻織物機械染色業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成19(2007)年度を基準年度とする平成28(2016)年度から令和2(2020)年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況
 《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成19年度	令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
エネルギー 起源CO ₂	11,213	9,750 -13.0	8,306 25.9	8,366 25.4	8,710 22.3	7,758 30.8	6,753 39.8
非エネルギー 起源CO ₂	0	0	0	0	0	0	0
メタン	0	0	0	0	0	0	0
一酸化二窒素	0	0	0	0	0	0	0
その他 温室効果ガス	0	0	0	0	0	0	0
温室効果ガス 実排出量総計	11,213	9,750 -13.0	8,306 25.9	8,366 25.4	8,710 22.3	7,758 30.8	6,753 39.8
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	ここ数年の生産量減少に伴い、エネルギー起源CO ₂ の基準年度に対する排出量は39.8%減となり、削減目標を大幅に下回った。今後、生産量が増加した場合でも削減目標を達成できるよう、温室効果ガス排出抑制に向けた取組を継続します。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産量(千㎡)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成19年度	令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
エネルギー 起源CO ₂	0.2459	— —	0.2398 2.5	0.2413 1.9	0.2555 -3.9	0.2549 -3.7	0.2787 -13.3
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費原 単位(原油換算k1)	0.2459	— —	0.2398 2.5	0.2413 1.9	0.2555 -3.9	0.2549 -3.7	0.2787 -13.3
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	重油使用量の削減	重油を使用する水管ボイラーで すべて運用した場合に比べて 551 t-CO ₂ 削減	重油に比べてCO ₂ 排出量が少ない都市ガス を使用する貫流ボイラーを 全体の33%の 比率で運用
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物の再資源化	回収率 100%	分別収集および資源化徹底 空缶・蛍光灯等 ⇒回収業者

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。